



山東小学校 学校便り

NO. 5

『鎧（かすがい）Ⅱ』

令和7年10月14日

文責 中村博朗

【令和8年度運動会スローガン】

一人一人の熱い心 山に響く応援の声 笑顔あふれる運動会



いよいよ今年の運動会が今週18日（土）に開催されます。今年は猛暑対策のため、例年より一月ほど開催時期をずらしましたが、それでも30℃を超える日が続いております。そんな中でも子どもたちは一生懸命練習に励んでおり、10月6日（月）には応援団結団式もありました。また、山東タイムの時間に応援団を中心に各クラスで応援の練習もありました。今年は練習の進行もとてもよく、みんなで協力して意見を出し合いながら、しっかり準備を進めた成果が出ています。保護者や地域の皆様も本番を楽しみにしていただ下さい。

また、9月27日（土）の親子ふれあい作業も大変お世話になりました。こちらにも猛暑対策のため、PTA執行部の英断で一月ほど開催時期が変更になりましたが、本当にたくさんの方にご参加いただきありがとうございました。おかげさまで運動場もとてもきれいになりました。10月6日（月）～10月9日（木）には教育委員会から環境整備員の方も6名ほどきていただき、環境整備がさらに進みました。環境整備員の方には毎年学期ごとに3回来ていただいております、いつも熱心に作業していただいております。前号でもご紹介しましたが、山東小学校は本当にたくさんの方に支えていただいております。運動会では感謝の気持ちもこめて、子どもたちが一生懸命走り、踊ります。どうぞ温かく見守ってください。



ペットボトルキャップ集め

ご協力ありがとうございました

今年も環境委員会が企画しましたペットボトルキャップ集めにご協力いただき、ありがとうございました。おかげさまで、約41,850個のペットボトルキャップが集まりました。こ

のペットボトルキャップは、約52本分のワクチンとなって海外に送られるそうです。

現在も世界では悲惨な戦争や貧困が人々を苦しめています。そんな中で私たちができることを一つ一つ大切にしていきたいですね。これからの時代を作る子どもたちに、“できないこと”ではなく“できること”を見つけ、積み上げていくことを学んでほしいです。日本が戦後80年間も平和を守り続けてこられたのは、おじいちゃんやおばあちゃんたちのそんな努力の積み上げのおかげだと思います。ペットボトルキャップ集めは小さな取り組みかもしれませんが、自分にできる取り組みとして大切にしてほしいと思います。



校長コラム②

あいさつ 「遠くの挨拶」と「近くの挨拶」そして「挨拶1本」

保護者、地域の皆様、登下校の見守り、いつもありがとうございます。子どもたちは元気な挨拶ができておりますでしょうか。もちろん、学校ではしっかり挨拶ができるように日々子どもたちに話しており、学校内では元気よく挨拶できることが多いです。ただ、学校外では“できる時”と“できない時”の差がけっこうあります。特に2学期始めは長期休業後なので、なかなか元気がでません。運動会の練習が始まる頃に応援団の子どもたちを中心にスイッチが入り始めることが多いです。また、見守りの方からは「班長の挨拶がしっかりしている」という感想をよくいただきます。もちろん、班長以外にも立派な挨拶ができる子がいますが、「役割が人を育てる」とはよくいったもので、登校班の班長の成長は著しいものがあります。その分大変なことが多いのですが、それゆえに上級生としての自覚が芽生え、本当に素晴らしい成長をみせてくれます。

また、挨拶のタイミングについて、私から「遠くの挨拶」と「近くの挨拶」という話をしています。まず、遠くに登下校の見守りをしてくれている人を見つけたら、遠くから大きな声で挨拶。そして、近くにきたら、丁寧な声で2度目の挨拶をするように話しています。さらに、私との挨拶勝負で先に挨拶できたら「挨拶1本」です。私が以前剣道をしていたこともあり、先に挨拶ができたら「1本」とられたというわけです。そんな楽しい要素も入れながら、挨拶が自然にできる人になれるよう声かけをしています。

挨拶は社会で生きるうえで最も基本的な技能で、どこの企業でも採用の大前提としています。ただ、私とその価値を自覚できたのは大人になってからだったと思います。子どもの頃はなかなかその価値を自覚できないものです。ですから、子どもたちの挨拶の定着には根気が必要です。いずれ挨拶の価値に気づき、その時の気分左右されることなく自然な挨拶ができるようになりますが、それまでは周囲の大人の優しく、粘り強い働きかけが必要です。保護者、地域の皆様のご協力をぜひよろしくお願い致します。

ちなみに、現在の山東小学校の子どもたちの挨拶力を相撲の番付でいうと西（東？）の関脇くらいでしょうか。熊本市平均よりも間違いなく上をいっていると思うのですが、さらに大関、横綱級になれるよう、応援をよろしくお願い致します。

